



天童市のシンボルであります舞鶴山の木々にも、新緑の若葉が芽吹いてきました今日の良き日に、ご来賓の皆様はじめ、多くのロータリアンの皆様をお迎えし、天童ロータリークラブ創立60周年記念式典を開催できますことは、誠に喜ばしいことであり、心より厚く御礼申し上げます。

ご案内のように、60年前の今日3月26日に、当ロータリークラブは、仙台ロータリークラブ山形ロータリークラブのご指導のもと、23名のチャーターメンバーにて、県内4番目のロータリークラブとして誕生いたしました。以来60年の歴史を刻んでまいりましたが、「奉仕の理想」の実現に向けて、日夜たゆまぬ努力と実践に取り組み、その結果今日の歴史と伝統のあるロータリークラブに成長してきたものと確信しているところであります。これもひとえに、歴代の先輩ロータリアンの皆様をはじめ、各界の多くの方々のご指導とご協力の賜物であり、深甚なる敬意を表する次第であります。

顧みますと1978年には故黒澤茂ガバナー、1991年には故野川勝二ガバナー、そして2009年に佐藤豊彦ガバナーと3人のガバナーを輩出し、国際ロータリー第2800地区内外にも多大な貢献をいたして参りました。

また、1985年には設立を提唱しました山形電波工業高等学校のインターアクトクラブは、31年間にわたり現在も多面的に積極的な奉仕活動を展開しております。その他、国際奉仕の交換留学生の派遣と受け入れ、米山奨学生の受け入れ、そして財団奨学生の派遣等々に積極的な活動を展開しており、青少年育成にも多大な貢献をしていると自負しているところであります。

ロータリークラブ同士の交流活動では、1981年喜多方ロータリークラブと姉妹クラブを締結し、以来35年以上現在も相互訪問等々積極的に交流を続けております。また、米沢中央ロータリークラブ、白河西ロータリークラブとは、冬の蔵王温泉でスキー愛好者を中心に交流を重ねております。

さて、昨今の日本を取り巻く世界情勢は、米国や東アジア諸国などかつて無いほど刺激的で不透明な時代になろうとしております。それに伴い、世界経済もグローバル社会の中にあって、全く予測できず、私たち経済人にとりましても、先の見えない経営のかじ取りを余儀なくされる状況にあります。そのような状況だからこそ、なお一層私たちロータリー会員一人ひとりが自覚し、より良い社会の構築に貢献しなければならないと考えております。

すなわち私たちは現在に留まることなく、職業奉仕の理念のさらなる実現を目指すとともに、高潔な倫理観を備えた経営者になることを目指し、私たち一人ひとりがより一層の努力と自己研鑽に励み、さらなる奉仕の実現に向けて邁進いたしますことを、本日創立60周年にご出席くださいました皆様にお誓い申し上げます。

終わりに、今後とも当クラブに対しまして、皆様方の温かいご指導とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。式辞といたします。

平成29年3月26日

天童ロータリークラブ第60代会長 荒井 文男

